## 2016年4月23日 (土)

## 第二回 関西大学・国立台湾大学院生共同発表会

関西大学東西学術研究所・国立台湾大学文学院日本研究中心及び日本語文学研究所

18:15-			懇親会	児島惟謙館 第1会議室
18:00-18:10	徐興慶	教授	閉会の辞	関西大学千里山キャンパス
17:45-18:00	曹景惠	副教授	論評	会場
17:30-17:45	林立萍	教授	論評	
【休憩】 17:15-17:30	辻本雅史	教授	論評	
16:45−17:00	郭楠	院生		兄の京偲娯幽奋の焼成
	<b>呉征濤</b>	院生	近れ日本貝科にみる杭州不灰清国窯業調査報告に見る景徳鎮磁器の焼成	
16:30-16:45			一大隅重信の「国民葬」と孫文の「国葬」と蒋渭水の 「大衆葬」を例として 近代日本資料にみる杭州木炭	
16:15-16:30	胡安美	院生	―アメリカ新聞を中心に― 1920年代の葬儀に見る「国」から「民」への思想変化	
【休憩】 16:00-16:15	趙思倩	院生	1883年アメリカにおける中国不正茶事件	
15:30-15:45	島村朋惠	院生	日本統治末期における台湾人の「政治上の待遇改善」政策に関する研究	
15:15-15:30	何娟娟	院生	一台北中山堂(公会堂)における芸術イベントの研究 清末湖南省引进日本版纸币初探	
14:45-15:00	曾筱甯	院生	矛盾とよみがえり	
【休憩】 14:30-14:45	柯輝煌	院生	尾崎秀真と1930年代の台湾書壇	
14:00-14:15	村上敬	院生	円山応挙の「寛政描き」とその背景	
13:45-14:00	郭珮君	院生	成尋の雨乞い儀式に見える日中仏教文化交流	
13:30-13:45	吳昀融	院生	朝貢システム: 平和の創造者か?	
【写真撮影】【昼食】				
11:45-12:00	豊田郁	院生	土田麦僊の花鳥画をめぐって	
11:30-11:45	林姿瑩	院生	大岡昇平『俘虜記』における俘虜描写の意味再考	
【休憩】 11:10-11:30	中谷伸生	教授	文化交渉学へ越境する日本美術史学	
10:35-11:00	<b>州</b>	教授	調ロ本語子首有の税点から考えるロ本自語 一語彙を手掛かりに(基調講演)	
10:25-10:35	松浦章 林立萍	教授	日治時代台湾産バナナの海外搬出(基調講演) 調日本語学習者の視点から考える日本昔話	
10:00-10:25	范淑文	教授	1930年代内地人作家の台湾描写 一北原白秋・野上弥生子を例として一(基調講演)	
9:45-10:00	中谷伸生	教授	開会の辞 1020年代中地上作家の台湾世宮	
0.45, 10.00	<b>十公出</b> 出	<b>本7</b> 十四	BAO1÷	